

ローカルベンチマーク策定支援チーム「アイビー」設置

～金融支援と経営支援の一体的な取組みを推進～

愛知県信用保証協会（理事長：小川 悦雄）は、本協会による経営支援の実効性を高めるため、ローカルベンチマーク策定支援チーム（チーム名：アイビー）を設置します。

【設置の背景等】

信用補完制度の見直しに伴い、「経営支援」が保証協会の業務として法律上明記されたことで、一層質の高い経営支援への取組を進めています。そこで、新たな取組として「ローカルベンチマーク策定支援チーム」を設置し、中小企業・小規模事業者の「ローカルベンチマーク」策定をお手伝いすることで、中小企業・小規模事業者、金融機関・支援機関および本協会が同じ目線で対話を深めるきっかけづくりを行い、金融支援と経営支援の一体的な取組みを推進していきます。

【チームについて】

チーム名「アイビー」の和名は、「蔦（ツタ）」。花言葉は、「信頼」「誠実」「不滅」などがあります。中小企業・小規模事業者が地域の金融機関や支援機関等と誠実な対話を通じて、信頼関係を深めるお手伝いをし、中小企業・小規模事業者と蔦のように密接に絡まりあいながら、経営の改善発達にともに取り組んでいきたいとの思いから名付けました。

本協会の中小企業診断士または全国信用保証協会連合会が認定する経営アドバイザーの資格を有する職員9名で、部署横断的に編成しています。



【主な業務】

ローカルベンチマークの策定支援を通じて、

- ①収益性、健全性などの事業の見える化をサポート
- ②中小企業・小規模事業者、金融機関、支援機関及び本協会の共通認識を持てるようにする
- ③定期的なフォローアップを実施し、中小企業・小規模事業者の強み弱みに応じた具体的支援につなげる

※ローカルベンチマークとは...

経済産業省が平成28年3月に公表した企業の健康診断ツールです。企業の経営者等や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みとなっています。具体的には、「財務情報」と「非財務情報」に関する各データをもとに、企業の経営状態の変化に早めに気づき、早期の対話や支援につなげていくものです。